

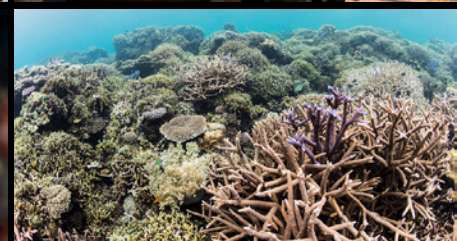
Philippines MAP CLICK! Travel Moalboal

Have a good dive in Moalboal!

SORA

web magazine 2019.oct. vol.123

PHOTO & STORY: Kyu Furumi





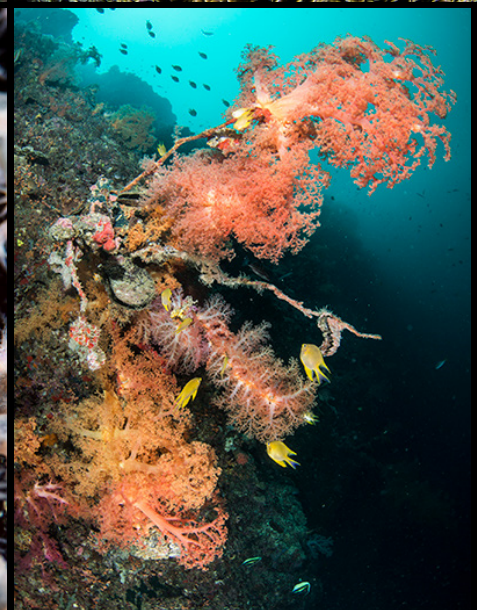
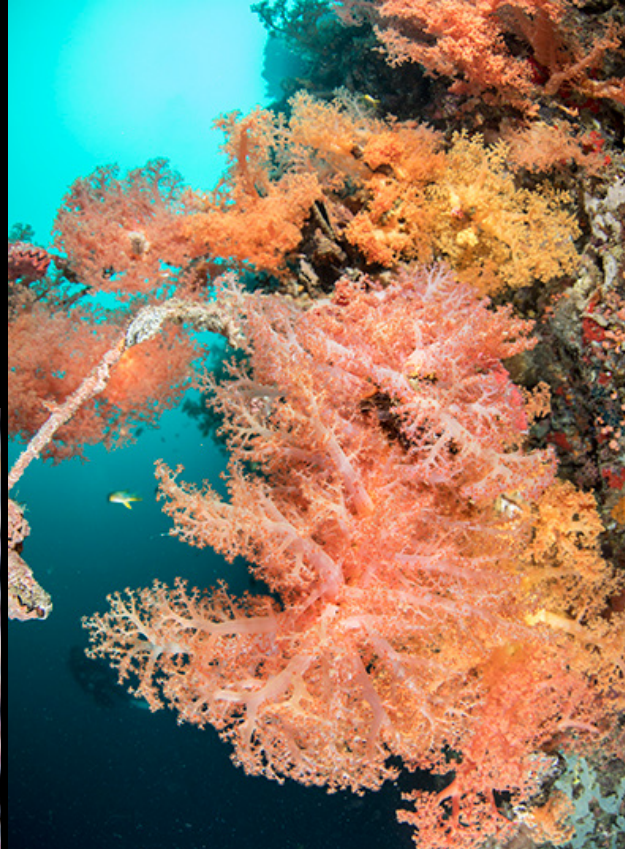
看板ガイド風香のイチオシ

ずいぶんと昔から何回も来たことがあるような気がしていたが、考えてみれば初めての訪問となったモアルボアル。何度もセブ島には来ているし、何度もモアルボアルの記事を目にしたこともあったし、話の中で話題にのぼることもしばしば。行ったこともないのに、情報は色んなところから入ってくるもんだから、僕の脳が勝手にバーチャルトリップをしていたのだろうか。まあそんな事でようやく来ることができたモアルボアルです。

今回お世話になるチキチキダイバーズさんへ到着すると、大きな笑い声が響き渡っていた。朝なのにずいぶんと賑やかな店内、なんだかいい雰囲気。ずいぶん前から知っている気がする代表のカツさんにご挨拶・談笑し、「今回はうちの看板ガイドがバッチリご案内させていただきますので!」と、ガイド風香（ふうか）さんを紹介してくれた。どんな感じで進めていきますか?ということだったので「風香さんの一番好きなモアルボアルを紹介してください。なんせ初めてだしね～」という形でモアルボアル取材がスタートした。

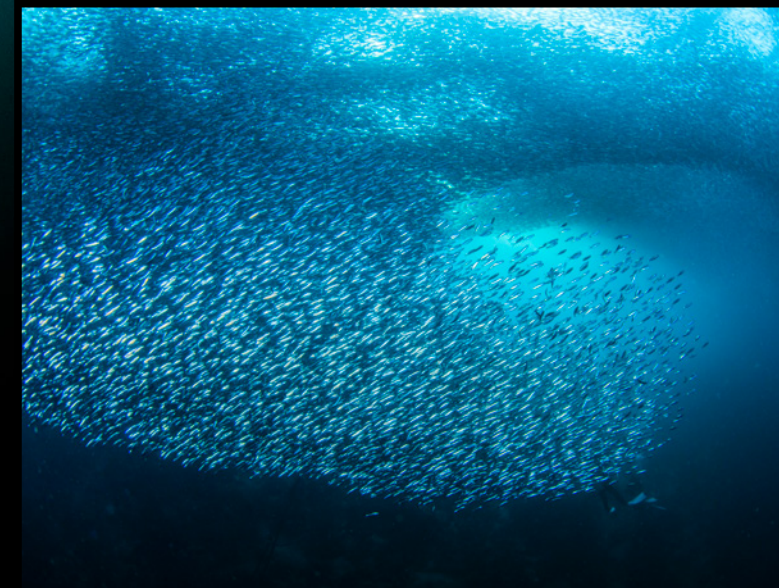
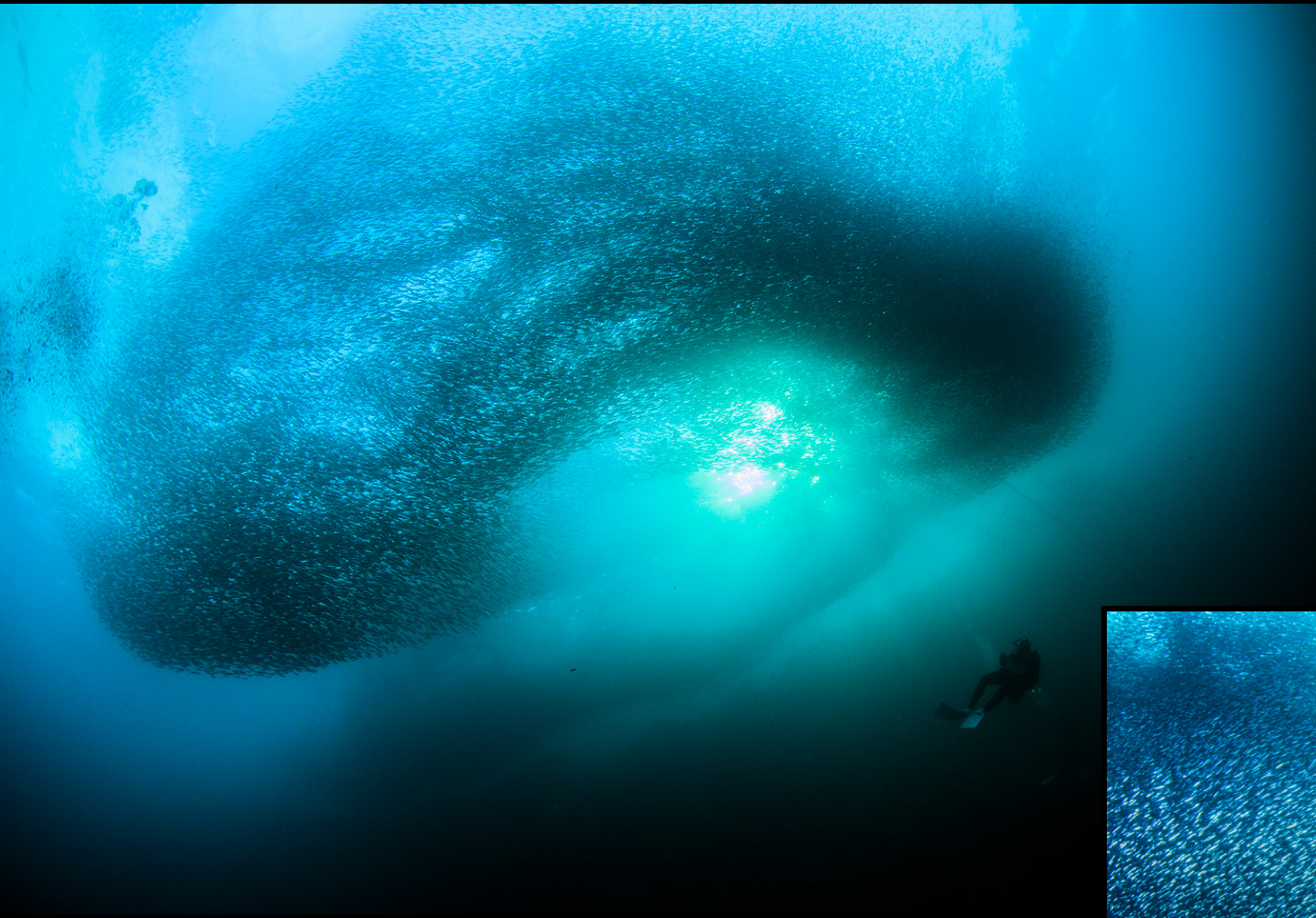


ショップの目の前に係留されたバンカーボートに乗り込み、まず向かったのは「トブレサンクチュアリ サウス」。サンゴの美しいリーフトップから少し沖へ出て、垂直なドロップオフを下降していく。ここで目指すは27m付近のヤギに生息しているというビッグミーシーホースだ。水深を下げるにつれ数を増してくるオレンジ色のソフトコーラルが気になるぞ。無類のソフトコーラル好きとしては堪らないシチュエーションじゃないか。熱中すること10数分。視界に風香さんが待っている姿が目に入り、すっかり忘れていた最初目指すべき被写体を思い出した。いかんいかん。目当ての大きなヤギにはオレンジ色のビッグミーシーホースが2個体ついてた。1個体は出産を目前に控えているのか、お腹がパンパンに膨れ上がっていた。しかしこれだけホストと体色が違うシチュエーションもなかなか珍しい。時間をかけて色んな角度からゆっくりと撮影していると、風香さんが「最近ここについているフグの赤ちゃんが大好きなんです!」とこれまた小指の爪ほどのシマキンチャクフグを紹介してくれた。おほほ。確かにかわいいじゃないか。「特別に好きな魚って決まっている訳ではないのですが、小さな幼魚とか、卵を持っていたりとか、求愛していたりケンカしていたりというシチュエーションを見つけた時は、すごくテンションが上がりますね〜」とのこと。同感です。そんな感じで素敵シチュエーションをゴソゴソと探しながら潜って行った。



Philippines
Moalboal
Travel
フィリピン・モアルボアル

空前絶後のイワシの群れ



モアルボアルと言えばイワシの大群が有名だ。昔から雑誌などで掲載されているもの凄い群れの写真を羨望の眼差しで眺めていたワタクシ。やっと念願が叶うぞ。「イワシの群れは下から見上げるのもいいですし、群れに包まれながら水平方向で見るのも最高ですね」という風香さんと共にダイビングポイント「カバナフロント」へ。なんとなく、すごく遠くの神秘的なところへ行行くのかと思っていたら、出航して30秒で到着。「あら？ こんなに近いの？」拍子抜けもいいところ。このエリアは保護区になっていて、釣りなどはOKだが網などでの漁を禁止し、イワシの群れを守っているのだという。エントリーすると、まずはメアジの群れが僕の周りにまとわりつくように出現した。これはこれでなかなかの迫力。軽く流れる潮に逆らいながら泳ぐと、目の前に蠢くブラックホールのような塊が現れ、僕らはそこに飲み込まれていった。様々に形を変えながら群れるイワシ。渦巻くように、時には雲のように。ダイバーの吐くエアーでイワシが作る天井に穴が開く。実は潜る前、イワシの群れだけだと、ちょっと飽きてしまうかも……。なんて思ってもいたが、まったくの杞憂に終わった。贅沢な自然のスペクタクルに心奪われ、いつまでも群れを眺めていた。

やすらぎのサンゴ

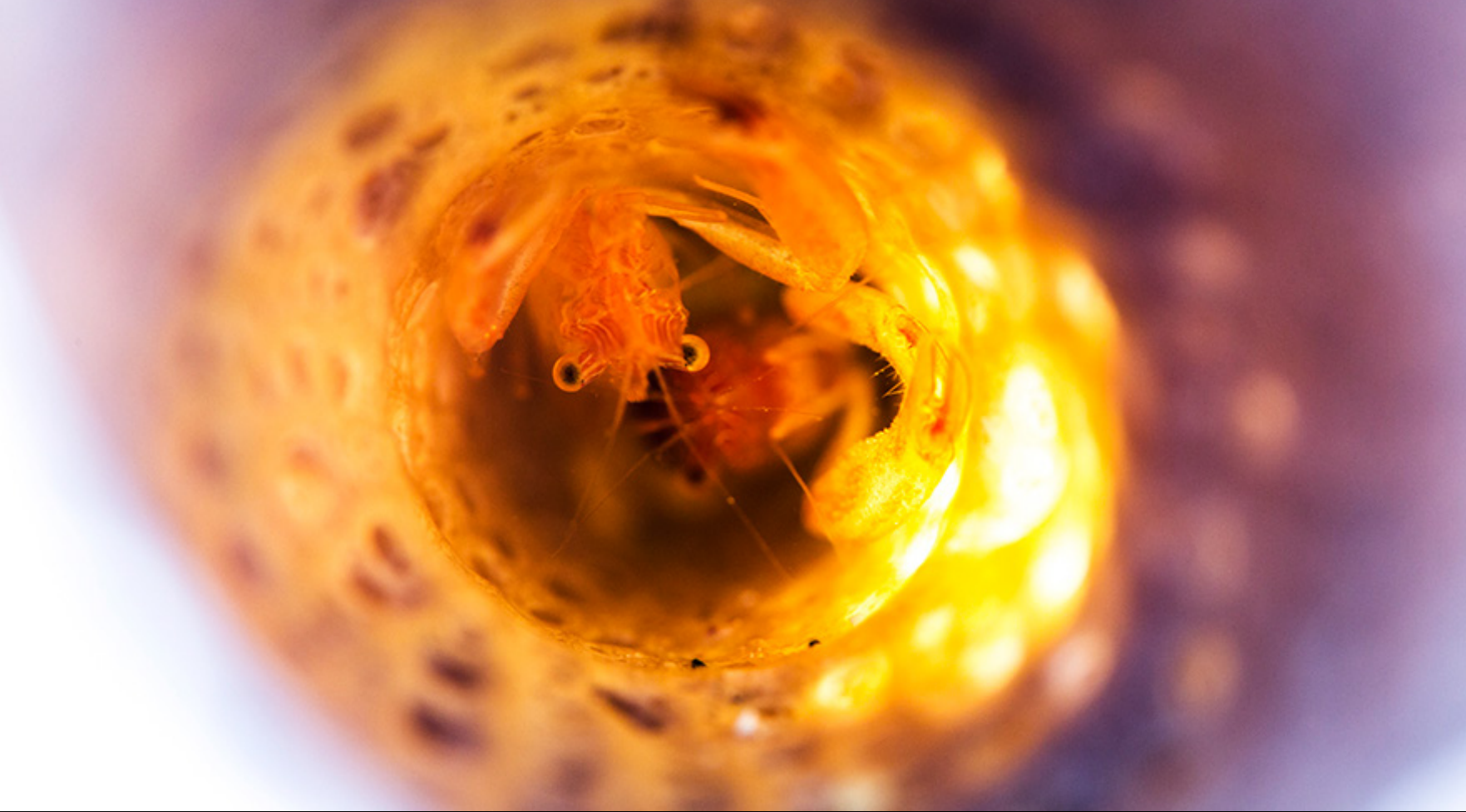
モアルボアルのサンゴと言えばトブレサンクチュアリ・ノース。美しい巨大キャベツコーラルをメインに、テーブルサンゴにエダサンゴなどがリーフトップを埋め尽くしていた。様々な種のサンゴが自分たちの生息領域を広げるよう、それぞれが他のサンゴを淘汰するべく少しでも大きく成長し、覆いまた覆われてこのサンゴ群生が出来上がっているのだろう。まさに自然の美しさ、生き物としての力強さと儚さが伝わってくる。と、同時に地球規模での時間の積み重ねを感じさせてくれる。ということちょっと大げさになっちゃうのかな？





モアルボアル
マクロセレクション





今回の取材では前述のイワシの群れや美しいサンゴの写真を押さえつつ、ガイドの風香さんチョイスでたくさんの小さな生物を紹介してもらった。フィリピンでは定番だけれども、やっぱり可愛いローランド・ダムゼルやタルボット・ダムゼルなどは幼魚中心で。キャンディーケイン・ドワーフゴビー、ブラックベリー・ドワーフゴビーなどの小さいけど華やか系。僕が無類のカエルウオ好きだと伝えるとホワイトライン・ブレニーやツースポット・ブレニーや、特に好きなテールスポット・ブレニーなど実にテンポよく効率よく紹介してもらった。

いつも海の中でもニコニコしていながらも、モアルボアルの見所を余すことなく把握していた風香さん。よっぽどこの海に愛着を感じて、よく潜り込んでいるんだろうなあと感じさせられた。モアルボアルらしい見せ方、自身の好きな生き物の見せ方が絶妙にミックスされたガイドング。素晴らしい一言でした。

ぷらっとモアルボアルの街を散策

取材最終日にはモアルボアルの街を散策。取材時はクリスマスムードが高まりつつあって、スーパーマーケットにはサンタクロースの人形が設置されていたり、店員のお姉さんたちもトナカイの角を付けたりして、自分たちも楽しんでいるようだった。大型のスーパーはお菓子や飲み物などの品揃えも豊富で、買い出しにはピッタリ。お土産などにも良さそうな品が多かった。その後は地元の方々と賑わうローカルマーケットへ。いわゆる市場なのだが、魚や野菜・果物など採れたてのものがカラフルに陳列されていて、眺めて歩いているだけでも楽しかった。お店の人たちは恥ずかしがるけど、写真に撮られるのは嫌いじゃないという人が多くて、なんだか楽しい散歩となった。こういう時間も旅の良い思い出になるものです。

【取材協力】チキチキダイバーズ



Philippines
Moalboal
フィリピン・モアルボアル

